

中宮北小統廃合問題検討委員会との打ち合わせの記録(メモ)

1. 日 時 平成29年9月29日(金) 17時10分～18時10分
2. 場 所 輝きプラザきらら7階会議室
3. 参加人数 合計6名

- ・中宮北小学校統廃合問題検討委員会3名
- ・市教委教育環境整備室3名
(畑中課長、松尾課長代理、明智係長)

4. 主な意見

- ・コミュニティとして前向きに統合について考えているが、市教委より具体策が出てこない。
- ・学校統合は、コミュニティの問題について解決しなければならない。
- ・いろいろな案がある中で、「学校統合しかない」という状況ならわかるが、具体的な取り組みが見えてこない。市教委は説明不足である。
- ・前任者との引継ぎが不十分である。ゼロからやり直してもよい。
- ・コミュニティスクールについて、市教委で話し合いをしているはずだが、話が出てこない。
- ・良い教育環境を作るために、市は学校統合を進める前に住環境を整備すべきである。
- ・コミュニティ問題を解決してから、統合を進めるべきではないか。
- ・2校を統合するだけでは、後に、また小規模校になるのでは。税金の無駄である。
3校くらいを統合して、小中一貫校をつくるべきでは。
- ・市民は学校がない地域に住もうとしない。市の施策と矛盾がある。
- ・学校がない地域には魅力がなくなり、人口が減る。魅力のある地域を作るべきである。
- ・高陵校区と中宮北校区の人口の比率を見てほしい。児童数が多い地域が少ない地域に行けということ自体おかしい。
- ・市教委が多数決を否定するなら、答申自体も否定する。
- ・他の小規模校にも手をいれるべき。なぜ、高陵小学校と中宮北小学校だけなのか。
- ・1学年の適正な学級数は4～5学級である。
- ・パブリックコメントを見て驚いたが、山田小学校の統合の件はどうなったのか。
- ・明倫小学校は小規模校だが、教育以外の別の意図が働いている(だから5年間様子を見るとなったのではないか)。
- ・なぜ、学区の再編成は考えないのか。
- ・なぜ、分校にする考えはないのか。理由を明確に出してほしい。
- ・切磋琢磨論だけでは納得がいかない。
- ・府立支援学校のように、共生推進の手立てを取り入れることもできる。
- ・関西外国語大学について。
 - (新しい宿舎に700人の学生が住むことになる)
 - (御殿山駅から坂を登り通学する学生が多くなることで、児童の通学と重なる)
 - (3,000人の学生が通学する大学である)
 - (関西外国語大学の学生と地域との関係が良くない ※学生数が多いため、高齢者が通行の際、道を塞がれることがある)
 - (関西外国語大学は市民が敷地内に入ることに制限がある。関西外国語大学の学生の友人が大学敷地内に入ることも制限される)
- ・教育委員会の方向性は理解した。よって、コミュニティの取り組みについて、部局と話をしたい。
- ・中宮北コミュニティの主体はPTAである。PTAがなくなるとコミュニティは崩壊する。

- ・「いきいき」の主体はPTAである。PTAがなくなれば「いきいき」がなくなる。
- ・コミュニティの問題など、具体的に考えていかなければならない。
- ・校区住民は学校統合に関しては賛成の意見が多いが、「コミュニティの問題がはっきりしてから」との条件がつく。
- ・学校統合をしてもコミュニティは2つでよい。
- ・「いきいき」は校区の基盤がきちんとしていなければ活動ができない。
- ・跡地活用の問題などが、はっきりしてから統合ではないか。
- ・来年、また課長が代わることはないのか。
- ・課長が代わっても良いが、引継ぎをしっかりとしてほしい。
- ・市民に何度も同じことを言わせていることはどうなのか。
- ・高陵校区に対して、教育委員会の方向性を話してほしい。
- ・なぜ、市教委はどちらの学校に行くのかを明確に言わないのか。
- ・実施プランに、「具体的にどの学校がどちらの学校に行くのか」を記入するための条件は何か。
- ・勉強会をやめてもいいと考えている。
- ・市教委が統廃合問題検討委員会で話をしてもらっても良い。

————— 以 上 —————